

アリドネパッチ 27.5mg

アリドネパッチ 55mg

【この薬は？】

販売名	アリドネパッチ 27.5mg ALLYDONE Patches 27.5mg	アリドネパッチ 55mg ALLYDONE Patches 55mg
一般名	ドネペジル Donepezil	
含有量 (1枚中)	27.5mg	55mg

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ 「医薬品に関する情報」
<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、アルツハイマー型認知症治療剤の中の、コリンエステラーゼ阻害剤と呼ばれるグループに属する貼り薬です。
- ・この薬は、脳内の神経伝達物質であるアセチルコリンを分解する酵素の働きを抑えることにより、認知症の症状が進むのを遅らせます。
- ・次の目的で処方されます。

アルツハイマー型認知症における認知症症状の進行抑制

- ・この薬は、体調がよくなったと判断して使用を中止したり、量を減らしたりすると病気が悪化することがあります。指示どおりに使用し続けることが重要です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

○次の人は、この薬を使用することはできません。

- ・過去にアリドネパッチに含まれる成分やピペリジン誘導体で過敏症のあった人

○次の人は、特に注意が必要です。使い始める前に医師または薬剤師に教えてください。

- ・心臓に障害（心筋梗塞、弁膜症、心筋症など）のある人、電解質異常（低カリウム血症など）のある人
- ・洞不全症候群または伝導障害など、心臓に障害のある人
- ・消化性潰瘍を過去に経験したことがある人
- ・気管支喘息や閉塞性肺疾患を過去に経験したことがある人
- ・錐体外路障害（パーキンソン病、パーキンソン症候群など）のある人
- ・妊婦または妊娠している可能性のある人
- ・授乳中の人

○この薬には併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

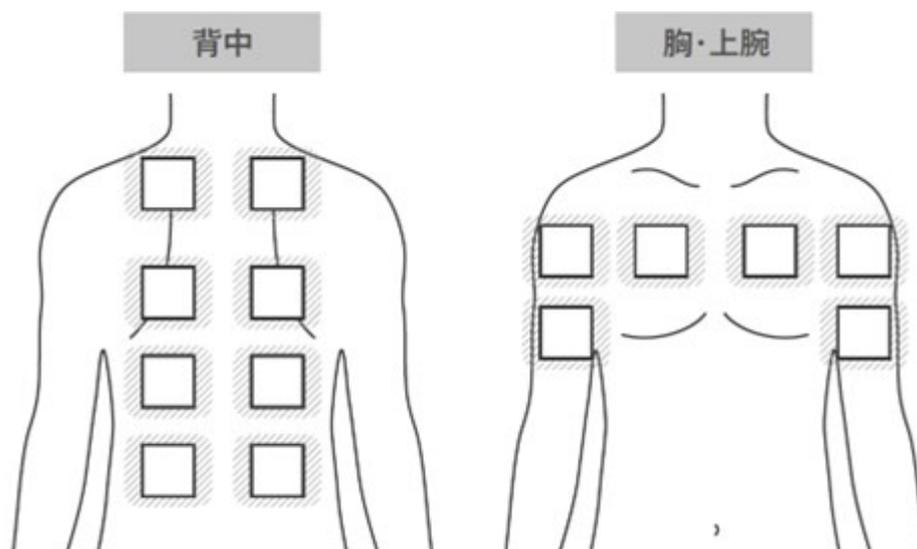
【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

- ・使用量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。

通常、軽度～中等度のアルツハイマー型認知症患者の使用量および回数は1日1回27.5 mgです。高度のアルツハイマー型認知症には、1日1回27.5 mgで4週間以上経過後、1日1回55 mgに増量します。なお、症状により1日1回27.5mgに減量する場合があります。

- ・この薬は背部、上腕部、胸部のいずれかの正常で健康な皮膚に貼り、毎日ほぼ同じ時間に（24時間毎に）貼り替えます。



●どのように使用するか？

[貼る時の注意点]

- ・ 包装袋は貼る直前に開けてください。開封後は速やかに貼ってください。
- ・ 必ず古い薬をはがしてから、新しい薬を貼ってください。

[貼る場所の注意点]

- ・ 清潔で乾燥した場所、体毛が少ない場所、衣服を着用してもこすれにくい場所に貼ってください。
- ・ 傷口や皮膚に異常がある場所には貼らないでください。
- ・ 貼る直前に、クリーム、ローションまたはパウダーなどを貼る場所に使用しないでください。
- ・ あらかじめ貼る場所を乾いたタオルなどでよく拭いてください。
(水分や汗でぬれているとうまく貼れません)

[薬の貼り方]

1 包装袋からお薬を取り出す

内部のパッチを傷つけないように、包装袋の2カ所を番号順(①→②)に手で切り取り、中のパッチを取り出してください。



2 日時を記入する

パッチ表面に、貼る日付と時間をペン・ボールペンなどで記入してください。
(衣服などにインクが付く場合があります。水性ペンは乾きが遅いのでご注意ください)



3 透明フィルムを半分はがす

パッチには透明フィルムがついています。

粘着面に触れないように、透明フィルムの半分をはがしてください。



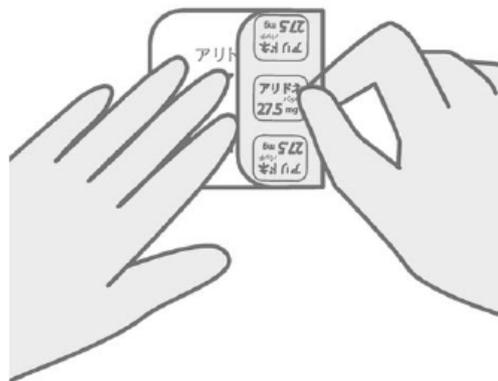
※一度山折りすると、透明フィルムがはがれやすくなります。

4 お薬を貼る

粘着面を背中、上腕、胸のいずれかに押しあて、半分だけパッチを貼ってください。

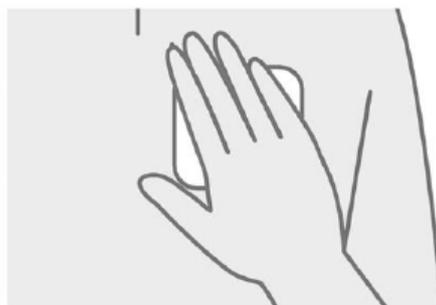
貼った部分を押さえて、残りの透明フィルムをはがしながら貼ってください。

(お薬は、ハサミなどで切って使用しないでください)



5 お薬を押さえる

パッチがしっかりとくっつくまで、手のひらで押さえてください。



6 手を洗う

パッチを貼り終わったら、手を流水で洗ってください。手にお薬がついていることもあるため、手を洗う前に、目や口に触れないようにしてください。



●はがれた場合の対応

薬がはがれた場合は、その時点で新しい薬に貼り替え、予定していた次の貼り替え時間に改めて新しい薬に貼り替えてください。

●使用し忘れた場合の対応

貼り忘れに気付いたときは、そのときに貼ってください。次の貼り替えはいつもと同じ時間に貼り替えてください。貼り替えていないことに気付いた場合でも、一度に2回分を貼らないでください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

嘔気、嘔吐（おうと）、流涎（りゅうぜん）（よだれがでる）、発汗、徐脈、低血圧、呼吸抑制、虚脱（力がぬける）、けいれん及び縮瞳（しゅくどう）、筋脱力などがあらわれる可能性があります。このような症状があらわれた場合は、ただちに医師に相談してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・不整脈*があらわれることがあります。特に心臓病（心筋梗塞、弁膜症、心筋症など）の人や電解質異常（低カリウム血症等）のある人では注意して下さい。異常を感じたら、ただちに受診して下さい。

*不整脈：

副作用は？の表中に示しているQT延長、心室頻拍、トルサード・ド・ポアント、心室細動、洞不全症候群、洞停止、高度徐脈、心ブロックをさします。

- ・この薬で、意識障害（気を失う、意識の低下など）、めまい、眠気などがあらわれることがあります。またアルツハイマー型認知症でも自動車の運転等の機械操作能力が低下することがありますので、自動車の運転など危険を伴う機械の操作はしないよう注意して下さい。
- ・この薬を貼ることにより皮膚症状があらわれることがありますので、貼る場所を毎回変更して下さい。一度貼った場所は7日以上の間隔をあけてください。
- ・光線過敏症があらわれるおそれがありますので、衣服で覆う等、貼った場所への直射日光を避けてください。はがした後も、3週間は直射日光があたらないようにして下さい。
- ・この薬は、貼っている部位の温度が上がると体内へ吸収されやすくなるおそれがあります。薬を貼った場所が、過度の直射日光、あんか、サウナなどで熱くならないようにして下さい。
- ・この薬の正しい使い方を守らなかった場合、重大な副作用があらわれることがありますので、患者さん、介護者の方は、使い方について十分に理解できるまで医師または薬剤師から説明を受けてください。
- ・妊婦または妊娠している可能性がある人は医師に相談して下さい。
- ・授乳している人は医師に相談して下さい。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を使用していることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意いただきたい重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。

このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
QT延長 キューティーえんちょう	めまい、動悸、気を失う
心室頻拍 しんしつひんぱく	めまい、動悸、胸の不快感、気を失う
トルサード・ド・ポアント	めまい、動悸、気を失う
心室細動 しんしつさいどう	気を失う
洞不全症候群 どうふぜんしょうこうぐん	めまい、気を失う、立ちくらみ、脈が遅くなる、息切れ
洞停止 どうていし	めまい、気を失う、立ちくらみ、脈が遅くなる、息切れ
高度徐脈 こうどじよみやく	めまい、意識の低下、意識の消失、息切れ、脈が遅くなる、脈がとぶ、気を失う
心ブロック しんぶろく	めまい、気を失う、立ちくらみ、脈が遅くなる、息切れ
失神 しっしん	短時間、意識を失い倒れる
心筋梗塞 しんきんこうそく	しめ付けられるような胸の痛み、息苦しい、冷汗が出る
心不全 しんふぜん	息苦しい、息切れ、疲れやすい、むくみ、体重の増加
消化性潰瘍 しょうかせいかいよう	吐き気、嘔吐、吐いた物に血が混じる（赤色～茶褐色ときに黒色）、腹痛、胃がむかむかする、黒い便が出る
十二指腸潰瘍穿孔 じゅうにしちようかいようせんこう	激しい腹痛、冷汗が出る、上腹部不快感、胃がむかむかする、すっぱいものが上がってくる、げっぷが出る、食欲不振、吐き気、嘔吐、吐いた物に血が混じる（茶褐色～黒褐色）、黒い便が出る
消化管出血 しょうかかんしゅっけつ	吐き気、嘔吐、吐いた物に血が混じる（赤色～茶褐色または黒褐色）、腹痛、便に血が混じる、黒い便が出る
肝炎 かんえん	体がだるい、吐き気、嘔吐、食欲不振、発熱、上腹部痛、白目が黄色くなる、皮膚が黄色くなる、体がかゆくなる、尿の色が濃くなる
肝機能障害 かんきのうしょうがい	疲れやすい、体がだるい、力が入らない、吐き気、食欲不振
黄疸 おうだん	白目が黄色くなる、皮膚が黄色くなる、尿の色が濃くなる、体がかゆくなる
脳性発作 のうせいほっさ	意識の低下、考えがまとまらない、けいれん、判断力の低下

脳出血 のうしゅっけつ	突然の意識の低下、突然の意識の消失、突然片側の手足が動かしにくくなる、突然の頭痛、突然の嘔吐、突然のめまい、突然しゃべりにくくなる、突然言葉が出にくくなる
脳血管障害 のうけっかんしょうがい	突然の意識の低下、突然の意識の消失、突然片側の手足が動かしにくくなる、突然の頭痛、突然の嘔吐、突然のめまい、突然しゃべりにくくなる、突然言葉が出にくくなる
錐体外路障害 すいたいがあるしょうがい	動きが遅い、眼球が上を向く、首のねじれやつっぱり、手足のふるえやこわばり、筋肉のこわばり、足がそわそわして落ち着かない
悪性症候群 あくせいしょうこうぐん	高熱、汗をかく、ぼーっとする、手足のふるえ、体のこわばり、話しづらい、よだれが出る、飲み込みにくい、脈が速くなる、呼吸数が増える、血圧が上昇する
横紋筋融解症 おうもんきんゆうかいしょう	手足のこわばり、手足のしびれ、脱力感、筋肉の痛み、尿が赤褐色になる
呼吸困難 こきゅうこんなん	息苦しい、息切れ
急性膵炎 きゅうせいすいえん	吐き気、嘔吐、激しい上腹部の痛み、背中での痛み、お腹にあざができる、お腹が張る
急性腎障害 きゅうせいじんしょうがい	尿量が減る、むくみ、体がだるい
原因不明の突然死 げんいんふめいのとつぜんし	気を失う
血小板減少 けっしょうばんげんしょう	鼻血、歯ぐきの出血、あおあざができる、出血が止まりにくい

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。
これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	冷汗が出る、疲れやすい、むくみ、体重の増加、体がだるい、発熱、体がかゆくなる、力が入らない、動きが遅い、高熱、汗をかく、体のこわばり、脱力感、出血が止まりにくい
頭部	めまい、気を失う、立ちくらみ、意識の低下、意識の消失、短時間、意識を失い倒れる、考えがまとまらない、判断力の低下、突然の意識の低下、突然の意識の消失、突然の頭痛、突然のめまい、首のねじれやつっぱり、ぼーっとする
顔面	鼻血
眼	白目が黄色くなる、眼球が上を向く
口や喉	吐き気、嘔吐、吐いた物に血が混じる（赤色～茶褐色ときに黒色）、げっぷが出る、吐いた物に血が混じる（茶褐色～黒褐色）、突然の嘔吐、突然しゃべりにくくなる、突然言葉が出にくくなる、話しづらい、よだれが出る、飲み込みにくい、歯ぐきの出血
胸部	動悸、胸の不快感、息切れ、しめ付けられるような胸の痛み、息苦しい、すっぱいものが上がってくる、呼吸数が増える
腹部	腹痛、胃がむかむかする、激しい腹痛、上腹部不快感、食欲不振、上腹部痛、激しい上腹部の痛み、お腹が張る
背中	背中での痛み
手・足	脈が遅くなる、脈がとぶ、突然片側の手足が動かしにくくなる、手足のふるえやこわばり、足がそわそわして落ち着かない、手足のふるえ、脈が速くなる、手足のこわばり、手足のしびれ
皮膚	皮膚が黄色くなる、お腹にあざができる、あおあざができる
筋肉	けいれん、筋肉のこわばり、筋肉の痛み
便	黒い便が出る、便に血が混じる
尿	尿の色が濃くなる、尿が赤褐色になる、尿量が減る
その他	血圧が上昇する

【この薬の形は？】

販売名	アリドネパッチ 27.5mg
包装袋	
形状	 <p style="text-align: center;">四隅が丸い四角形の経皮吸収型製剤</p>
大きさ	固定用シート：81mm×81mm 薬物層：67mm×67mm
色	白色～淡黄色半透明

販売名	アリドネパッチ 55mg
包装袋	
形状	
	四隅が丸い四角形の経皮吸収型製剤
大きさ	固定用シート：89mm×134mm 薬物層：75mm×120mm
色	白色～淡黄色半透明

【この薬に含まれているのは？】

有効成分	ドネペジル
添加剤	スチレン・イソプレン・スチレンブロック共重合体、水素添加ロジングリセリンエステル、流動パラフィン、その他3成分

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・直射日光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・包装袋は貼る直前まで開けないでください。
- ・子供の手や目の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

●廃棄方法は？

- ・はがしたパッチは、まだ薬の成分が残っているので接着面を内側にして半分に折りたたみ、必ず、子供の手や目の届かないところに廃棄してください。
- ・パッチをはがした後は、手に付着した薬を除去するため、手を洗ってください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：帝國製薬株式会社

販売元：興和株式会社 (<https://medical.kowa.co.jp/>)

くすり相談センター

電話：0120-508-514

03-3279-7587

受付時間：9:00～17:00（土・日・祝日・弊社休日を除く）